

県立自然ふれあいセンターの管理運営状況

(平成26年度～27年度)

県所管課	環境生活部自然保護課
指定管理者	青森県森林組合連合会 代表理事長 本間 家大
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
県民の森利用指導事業	・広く県民に対して自然にふれあう機会を提供し、自然保護思想の普及を図るため、日曜観察会をはじめとする各種行事や自然をテーマとした研究会・写真展等を開催する。
情報発信事業	・広報誌、ホームページ等を活用し、センターの事業や県民の森に関する情報を発信する。
県民の森に関する業務	・県民の森を安全・快適に利用してもらうため、登山道を始めとする施設の点検や整備、清掃等を実施する。
施設の維持管理に関する業務	・センターを快適に利用してもらうため、センターの清掃や除雪、各種設備の保守管理等を実施する。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画(人)	実績(人)	計画対比	前年度対比
入館者数	H26	30,000	39,497	131.7%	110.1%
	H27	30,000	38,062	126.9%	96.4%
	平均	30,000	38,779	129.3%	
	H25(参考)	30,000	33,910	113.0%	98.1%
行事参加者数	H26	1,700	2,229	131.1%	110.1%
	H27	1,700	2,854	167.9%	128.0%
	平均	1,700	2,541	149.5%	
	H25(参考)	1,700	2,024	119.1%	92.8%

【総評】

入館者数については、平成27年度の実績が平成26年度の実績を下回るものの、PR活動やミズバショウの道の一部拡充（日本一のブナ観察路整備）等による入山者数の増加も背景に、前回指定管理期間（平成23年度から平成25年度まで）における実績（最大：34,584人、平均：33,543人）と比較すると、大幅に増加しており、40,000人に迫る人数である。

行事参加者数については、自主事業の充実（児童生徒向けプログラム「梵珠山木登り体験」）等により、平成26年度、平成27年度ともに前年度実績を上回った。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	評価期間全体を通じて業務水準書に定める事業が実施されている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	評価期間全体を通じて業務水準書に定める事業が実施されている。 他の関連施設と連携したイベントの実施など利用促進のための取組みが見られる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	評価期間全体を通じて業務水準書に定める維持管理が行われている。 県民の森関係施設の維持管理も計画的に実施しており安全が確保されている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	緊急時連絡体制が整備されており、評価期間全体を通じて問題となる事例が発生していない状況である。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	評価期間全体を通じて指定管理料は適正に執行されている。積極的な節電により電気料金を減額させている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	3	4	入館者数については、平成 27 年度の実績が平成 26 年度の実績を下回るものの、行事参加者数については、自主事業の充実等により、平成 26 年度、平成 27 年度ともに前年度実績を上回っており、評価期間全体を通じて成果目標を上回る成果を上げている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	評価期間全体を通じて個人情報取扱特記事項が遵守されており、問題となる事例も発生していない。
総合評価	3	3	評価項目の全体の内容から左記の評価とした。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する